

展示物に関する話し合いは

粘り強く協議していく



石橋 義雄
(自民公明クラブ)

議員 新渡戸記念館の展示物の保存、展示方法について新渡戸家側と粘り強く話し合いを続けていく考えはあるか。

市長 記念館には新渡戸家三代にわたる三本木原開拓の資料を初め、後世へ引き継いでいかなければならない貴重な資料があると認識しています。し

かし、耐震診断の結果、解体を視野に入れた検討が望ましいとの報告があり、来館者の身の安全と資料の安全が第一として廃館する条例案を提案しました。資料については環境の整った称徳館で保存できればと考えますので、これからも新渡戸家側と粘り強く協議していかなければと思います。

議員 鞍山穴堰、天狗山穴堰、幻の穴堰の文化財指定に向けた取り組み状況は。

教育部長 鞍山穴堰及び天狗山穴堰を含む稲生川については市の文化財指定に向けて、稲生川の所有者である国及び稲生川土地改良区からの同意に向けた事務を進めています。

幻の穴堰については、市文化財保護審議会において現地確認を含めた協議が行われ、先日答申書が提出されました。その内容は、崩落防止のために大規模に手を加えると昔と状況が変わってしまう、その価値が失われるなどの理

由から、指定することが適当ではないとのことでした。
議員 新渡戸稲造博士の残した業績や思想を学ぶことで若い人材を育てるための施策について。

教育長 教育委員会では稲造博士の思いを児童生徒に伝えるべく、寺子屋稲生塾や花巻市との交流キャンプ等の実施、予算特別枠として国内のその道のトップを招いた講演会や実用英語技能検定試験受験料の助成のほか、ALTを活用したイングリッシュコーナーの開催等による国際感覚の養成に努めるなど、今後とも高い志を持った若い人材の育成に努めたいと考えています。



「武士道精神」を学ぶ寺子屋稲生塾



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

議員 近年、大地震やそれに伴う火山噴火、ゲリラ豪雨などの風水害など想定外の自然災害が発生しているが、その場合の上水道の災害対策マニュアルを策定しているか。

上下水道部長 現在のマニュアルは地震、風水害等を想定しており、火山災害等の対策は考慮していません。今年度、地域防災計画と整合性を図りながら、火山災害等を含めた上水道と下水道を統合した災害対策マニュアルの策定に取り組んでいます。

議員 もし奥入瀬川が氾濫した場合の芳川原浄水場の対策は。

上下水道部長 浄水場には護岸の高さより一メートル高いよう壁を築造しています。もし堤防を越える氾濫があっても水田地帯のため直接場内への

上水道の想定外の自然災害への対策は

上水道と下水道を統合した災害対策マニュアルを策定中

流れ込みはないと想定していますが、もしもの場合は土のう等による建物の周りの防護などを検討しています。

議員 十和田湖の水質改善と休屋地区の自然環境の修景、再生について。

市長 豊かな自然に包まれ、静かな観光の中でゆったり過ごしていただくのが本来の十和田湖のあるべき姿、観光客が望む姿ではないかと思っております。十和田湖観光再生行動計画では十和田湖の景観を取り戻す第一として、環境省が南祖庵の撤去や旧ビジターセンターを含む駅前広場の再整備に取り組みこととしており、市でも景観向上のための取り組みについて協議を進めています。

民生部長 青森、秋田両

県による水質調査の結果によると、水質の重要な指標である透明度に関して、直近五カ年で九・二メートルから十・六メートルの間で推移している状況です。今後、宇樽部川、神田川のごみの不法投棄防止のためのパトロールの実施や水質保全のための学習会の開催等を通じて水質の現状を広く周知し、保全に努めたいと考えています。



十和田湖環境保全の努力を